

に顯著な事件は昭和七年十月東京市電争議の勃發に際して強制調停法が初めて適用され、その調停委員會の中立委員として本會常務理事吉田茂氏が選出されて議長として同争議の妥協成立に盡力したことをいふ。このことは同争議の調停が我國最初の職権調停の適用であつただけに多くの人々に記憶せられたる事件となつてゐる。

其の他講習會としては、勞務講習會、産業問題講習會を初めとして時局の要請に基りて各種の講習會を開催すると共に、農村社會問題講習會の如きは農村窮乏に對する救濟策への要望と呼應して多くの効果を擧げたるに至つた。

尚、本會に於ては既に關西方面との連絡の必要上大阪に支所を設置し、以來關西地方に於ける唯一の勞資協調

機關として権威ある存在となつてゐることは周知の事實であつたが、今回更に本會事業の充實と共に、名古屋及び福岡地方に支部機關の設置が要望せられるに至つたので、昭和六年十二月十五日名古屋及び福岡の両地に本會出張所を設置し、夫々囑託大澤逸策氏及び囑託清原進氏を出張所主任に任命した。

第二項 工業地及び農村の實地調査並に指導の實施

扱て、この前記の如くこの時期に於ける二大事業たる工業地及び農村の實地調査並に指導、及び時局對策委員會に就て述べなければならぬが、先づ順序として工業地及び農村の實地調査並に指導に就て概述しよう。周知の如く、經濟恐慌による打撃の最も甚だかつた土の